

駅へのアクセス向上を図ります！

7月16日（土）、

東上線 男衾駅 東西自由通路及び新駅舎を使用開始

～同日より「男衾駅自由通路及び駅舎竣工記念乗車券」も発売します～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、埼玉県寄居町のご支援をいただき、2014年6月より東上線男衾駅の東西自由通路新設及び駅舎新設工事を進めていましたが、2016年7月16日（土）始発列車から使用を開始します。また、使用開始を記念した「男衾駅自由通路及び駅舎竣工記念乗車券」の発売も同日より行います。

東上線 男衾駅については、東西自由通路及び新駅舎の使用開始により、これまで改札口の無かった駅西口からのアクセス向上が図られるほか、東西の行き来が大変便利になり、多くのお客さまにご利用いただきやすい駅施設となります。また、東西自由通路には多機能トイレを有する公衆トイレやエレベーターを設置し、利便性が向上しているほか、通路にはガラスを多く取り入れることで開放的なデザインとなっています。

また、記念乗車券は、東西自由通路及び新駅舎の使用開始を記念したもので、1枚340円（税込）を1,500枚限定で発売します。乗車券は、現在では珍しい手売り仕様の往復乗車券（大人・男衾～寄居間）であり、台紙には東西自由通路のほか、旧駅舎等も掲載されています。

当社では、これまでも東武アーバンパークライン 大宮公園駅や岩槻駅等のリニューアルを実施していますが、今後も沿線自治体のご支援をいただきながら、引き続きご利用されるお客さまの利便性向上を図っていきます。概要は別紙のとおりです。

以上



△男衾駅 東西自由通路（外観）



△男衾駅 東西自由通路（内観）

※お問い合わせは、東武鉄道お客さまセンター ☎03-5962-0102

東上線 男衾駅 東西自由通路・新駅舎の概要
及び「男衾駅自由通路及び駅舎竣工記念乗車券」について

1 東上線 男衾駅 東西自由通路及び新駅舎の概要について

- (1) 使用開始日時 2016年7月16日(土) 始発から
- (2) 駅所在地 埼玉県大里郡寄居町大字富田1792-1
- (3) 延べ床面積 126.94㎡ ※東西自由通路含む延べ床面積 727.63㎡
- (4) 構造規模他 鉄骨造 2階建て(駅事務室 他)
- (5) 設計会社 株式会社交建設計
- (6) 施工会社 東武谷内田建設株式会社
- (7) 駅開業日 1925(大正14)年7月10日

2 「男衾駅自由通路及び駅舎竣工記念乗車券」の発売概要について

- (1) 名称 男衾駅自由通路及び駅舎竣工記念乗車券
- (2) 発売期間 2016年7月16日(土)～8月31日(水)
 - ・売り切れ次第、終了となります。
 - ・発売開始時間は、各発売か所の営業開始時間に準じます。
- (3) 発売か所 東上線 池袋駅、坂戸駅、小川町駅、男衾駅 計4か所
- (4) 発売数 1,500枚 ※お一人様5枚まで購入可能です。
- (5) 発売額 1枚 340円(税込)
- (6) 発売内容 男衾～寄居間 大人往復乗車券
- (7) 有効期間 2016年7月16日(土)～8月31日(水)
 - ※使用開始から2日間有効です。
 - ※途中下車はできません。
 - ※自動改札機はご利用できません。



「男衾駅自由通路及び駅舎竣工記念乗車券」(イメージ)

以上

<参考>

男衾駅の駅名由来について

奈良時代の始めに、武蔵の国の一隅に男衾(おぶすま)郡が設置されました。男衾の東北方約1kmの所に、小被(おぶすま)神社があり、男衾郡三座のうちの一座と伝えられています。旧男衾郡の総鎮守であったといい、明治22年にこの神社に因み村名としました。その男衾村も寄居町に合併したので、現在は駅名だけとなりました。



△従来の駅舎

以上